

第 10 回通常支部大会資料

令和 4 年 5 月 25 日

公益社団法人 日本電気技術者協会関西支部

公益社団法人 日本電気技術者協会関西支部

第 10 回通常支部大会次第

1. 議 事 (報告事項)

令和 3 年度事業報告
令和 3 年度決算報告, 監査報告
令和 4 年度事業計画及び収支予算
支部役員の変更

2. 表 彰

令和 4 年度支部長表彰

【資 料】

資料 No. 1	令和 3 年度事業報告	1
資料 No. 2	貸借対照表	7
資料 No. 3	正味財産増減計算書	8
資料 No. 4	財産目録	10
資料 No. 5	収支計算書	11
資料 No. 6	監査報告書	13
資料 No. 7	令和 4 年度事業計画	14
資料 No. 8	令和 4 年度収支予算書	18
資料 No. 9	支部役員の変更	20
資料 No. 10	支部長表彰名簿	22
参考資料	関西支部規約	23

令和3年度事業報告

令和3年度事業は、第9回支部大会（令和3年5月25日（書面開催））においてご承認いただいた各種案件を、以下のとおり実施いたしました。

電気技術者のより一層の技術力向上を目指し、昨年来続く新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえ、各種講習会を開催いたしました。なお、緊急事態宣言等の発出もあり、一部の講習会等をやむを得ず中止といたしました。

その概要は、次のとおりです。

I. 公益目的事業

1. 講習会・講習見学会等の実施状況（公1）

月	実施内容
4	電験三種基礎講座（電気数学） [（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（4月24日 7名）
6	電験三種合格直前講習会（理論・電力・機械・法規） ○第三種電気主任技術者資格取得を目標にされている方を対象に、大阪産業創造館において、受験対策で実績のある講師の方より合格直線講習会を開催。公式を導く過程や法規条文が制定された経緯等の講義や、重要問題を中心に実力テストを実施。 [（一社）日本電気協会関西支部と共催] （理論：6月12日 19名、電力：6月19日 22名、 機械：7月17日 24名、法規：7月10日 22名）
	電気施設見学会（音羽電機工業株式会社 雷テクノロジーセンター） [主催]（6月 中止）
	内線規程講習会 ○内線規程について、一層の理解を深めていただくために電気設備の設計・工事及び施工管理などに従事されている方々を対象に講習会を開催。 [（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（7月13日 19名）
7	太陽光発電技術講習会 ○太陽電池の電流・電圧特性、システム構成、メンテナンス方法についての講習会を開催。 [（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（7月20日 25名）
	令和3年度電気使用安全月間講習会 ○「令和3年度中部近畿産業保安監督部近畿支部管内の電気事故と自家用電気工作物の立入検査結果、電気事故事例等」と「PCB含有電気工作物に係る手続きについて」を主題とし開催。なお、大阪以外については、コロナ禍の影響により中止。 [（一社）日本電気協会関西支部・各地区電気協会と共催] 「中央電気倶楽部(大阪開催)」（7月9日 11名）

月	実施内容
8	<p>高圧受電設備保全講習会（遮断器点検）</p> <p style="text-align: right;">[主催]（8月23日 中止）</p>
9	<p>第一種電気工事士筆記試験合格直前講習会</p> <p>○第一種電気工事士筆記試験受験を予定されている方を対象に、電気理論や配線図等についての講習会を開催。</p> <p style="text-align: right;">[（一社）日本電気協会関西支部に協賛] （9月4日、9月5日、9月11日 11名）</p>
	<p>系統連系規程講習会</p> <p>○電気設備の設計・工事及び施工管理の従事者に、再生可能エネルギー等による分散電源の連系が円滑に進められるよう、系統連系規程の改定内容等についての講習会を開催。</p> <p style="text-align: right;">[（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（9月9日 12名）</p>
	<p>高圧受電設備保全講習会（機器保全）（上期）</p> <p>○高圧受電設備の保全に従事されている方を対象に、LBS・DS・VCBを用いて、保守点検方法および保護継電器の特性試験についての講習会を開催。</p> <p style="text-align: right;">[（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（9月10日 20名）</p>
10	<p>インバータ講習会</p> <p>○インバータの基礎知識、モータ関係、パワー回路関係についての講習会を三菱電機株式会社様にご協力いただき開催。</p> <p style="text-align: right;">[（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（10月5日、6日、7日 23名）</p>
	<p>電気施設見学会（パナソニックライティングシステムズ伊賀工場）</p> <p style="text-align: right;">[主催]（10月 中止）</p>
11	<p>自家用電気工作物保安管理規程講習会</p> <p>○保安管理規程の制定経緯、概要等の説明を通じ、制定の目的、適用範囲及び自主保安体制の確立に向けた具体的な事例、電気保安業務では、工事、維持および運用に係わる巡視、点検及び検査、設備更新、作業安全、保安の記録等の取り組みにより、電気災害・事故を発生させない組織、環境の整備・構築、万が一の事故発生時の対応等について考慮すべき内容についての講習会を開催。</p> <p style="text-align: right;">[（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（11月5日 30名）</p>
	<p>電気施設見学会（株式会社エネゲート 千里工場）</p> <p style="text-align: right;">[主催]（11月 中止）</p>
	<p>高圧受電設備保全講習会（保護協調図作成）</p> <p>○高圧受電設備における停電事故（波及事故）の未然防止を目的に電気保安担当（主任技術者）を対象に保護協調の計算、モデルスケルトンを使っての保護協調図作成までの実習などの講習会を開催。</p> <p style="text-align: right;">[（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（11月11日 14名）</p>
	<p>第一種電気工事士技能試験合格直前講習会</p> <p>○第一種電気工事士技能試験受験を予定されている方を対象に、複線図の書き方や被覆はぎとり寸法の考え方等について講習会を開催。</p> <p style="text-align: right;">[（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（11月20日、27日 7名）</p>

月	実施内容
11	稼働を止めずにできる機器異常診断講習会 [主催] (11月 中止)
	電験二種基礎講座 (電気数学・電磁気・電気回路・直流機同期機・変圧器誘導機・自動制御) ○第二種電気主任技術者資格取得を目標にされている方を対象に、三種から二種への難関である数学の知識や電磁界や自動制御等で必要なラプラス変換など、できるだけ解りやすく解説するなど各科目において、試験問題を解くための基礎的な考え方や公式を導く過程など基礎講座を開催 [(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (12月 中止)
12	シーケンス基礎講習会 ○シーケンスを初めて学ぶ方を対象に、シーケンスの基本を解説し、具体的な設備を例題とした配線実習・各種プログラム演習の講習会を、三菱電機株式会社様にご協力いただき開催。 [(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (12月1日、2日、3日 22名)
	自家用電気設備の保護継電器試験講習会 ○机上講習と模擬受電盤を用いた過電流継電器・地絡継電器についての実習を (一財) 関西電気保安協会様にご協力いただき、同協会技術研修センターにおいて開催。 [主催] (12月10日 22名)
	高圧受電設備規程講習会 ○高圧受電設備に関して2～3年以上の経験を有する方を対象に、電気事故及び波及事故を防止するため、施設基準、機器材料選定、保守点検方法、保護協調・絶縁協調の確保、高調波対策及び系統連系についての講習会を開催。 [(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (12月15日、16日 40名)
1	電気設備技術基準・解釈講習会 ○電気設備の工事、維持および運用に従事されている方を対象に、「電気設備の技術基準とその解釈」についての講習会を開催。 [(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (1月13日 23名)
2	高圧受電設備保全講習会 (保護協調) ○高圧受電設備における波及事故防止を目的に、波及事故の現状と対策、保護継電器の原理と構造、保護協調計算ならびに保護協調曲線の描き方についての講習会を開催。 [(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (2月25日 23名)
	電気関係法規講習会 ○電気設備の保守管理に携わる方を対象に、電気事故や災害防止に必要な関係法規についての講習会を開催。 [(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (2月9日 31名)

月	実施内容
2	<p>高調波抑制対策技術指針講習会</p> <p>○各需要家から高調波電流の流失を抑制するために必要な技術的事項の講習会を開催。</p> <p>[(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (2月15日 11名)</p>
3	<p>高圧受電設備機器選定講習会</p> <p>○高圧受電設備機器に関する関連規格と選定手法についての講習会を開催。</p> <p>[(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (3月10日 23名)</p>
	<p>系統現象講習会</p> <p>○短絡・地絡事故の様相および高調波・電圧フリッカ・瞬時電圧低下等の問題と受電設備の運転に重要な保護協調における短絡・地絡電流の算出方法についての講習会を開催。</p> <p>[(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (3月11日 19名)</p>
	<p>高圧受電設備保全講習会 (機器保全)</p> <p>○高圧受電設備の保全に従事されている方を対象に、LBS・DS・VCBを用いて、保守点検方法および保護継電器の特性試験についての講習会を開催。</p> <p>[(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (3月18日 19名)</p>

2. 電気主任技術者等に対する技術相談の実施状況 (公2)

電気主任技術者等からの電気技術に関する不明点・疑問点等に対する技術相談については、協会本部と連携を図り対応いたしました。(延べ22回)

3. 技術周知の実施状況 (公4)

支部のホームページならびに協会誌『電気技術者』の「各支部からのお知らせ」(講習会等の行事予定)を活用し、各種講演会、研修会等の情報ならびに活動状況等を掲載し周知いたしました。

II. その他事業

1. 表彰関係

(1) 支部長表彰（令和3年5月）

令和3年度の支部長表彰は、支部長表彰選考委員会において審査、選考の結果、次の9名の方々が選出され、表彰状及び記念品が贈られました。（50音順 敬称略）

おおにし しゅういち おがわ まさなり すぎやま つとむ すずき ひろと たかはし やすゆき
大西 修一 小川 雅也 杉山 勉 鈴木 寛人 高橋 康之

にしもと ひろあき にしもと ひろし よねたに しんいちろう わたなべ まさひこ
西本 浩明 西本 弘 米谷 紳一郎 渡邊 正彦

(2) 本部長表彰（令和3年6月）

令和3年度の本部長表彰は、支部長表彰選考委員会において審査、選考の結果、次の5名の方々を本部に推薦しました。新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、オンライン（WEB/Zoom）にて開催された本部長表彰選考委員会において審査、選考の結果、支部から推薦した5名全員が選出され、表彰状及び記念品が送られました。（50音順 敬称略）

あぐ てつや うえやま ひろふみ けがさ ともゆき すだ みのる ますだ ひさよし
安久 哲也 上山 裕史 毛笠 智之 須田 稔 増田 久芳

(3) 令和3年度電気保安功労者表彰（令和3年8月）

令和3年度電気保安功労者表彰は、支部長表彰選考委員会において審査、選考し、経済産業省中部近畿産業保安監督部近畿支部および関西電気安全委員会に推薦したところ、次の方々が中部近畿産業保安監督部近畿支部長表彰、関西電気安全委員会委員長表彰を受賞されました。中部近畿産業保安監督部近畿支部長表彰および関西電気安全委員会委員長表彰にあつては、令和3年8月6日に帝国ホテル大阪において開催された表彰式典で、各表彰状及び記念品が贈られました。（50音順 敬称略）

- ・中部近畿産業保安監督部近畿支部長表彰

えのもと きよひで つるなが しげき
榎本 清秀 鶴永 重喜

- ・関西電気安全委員会委員長表彰

おぼた やすひろ だいどう ふじお たべい かつお みむら ひでき
小畑 泰寛 大道 富士夫 田部井 五男 三村 英希

(4) 令和3年度澁澤賞表彰（令和3年11月）

令和3年度澁澤賞表彰は、支部長表彰選考委員会において審査、選考し、日本電気協会に推薦したところ、次の方が澁澤賞を受賞されました。澁澤賞表彰にあつては、令和3年11月19日に東京商工会議所渋沢ホールにて開催された表彰式典で、表彰状が贈られました。（敬称略）

えとう のぶお
江藤 伸夫

2. 会勢および会員拡大運動の展開

会勢拡大のため、「電験三種合格直前講習会」（令和3年6月、7月開催）、「電気使用安全月間講習会」（令和3年7月開催）において希望者に「日本電気技術者協会会誌」、「入会申込書」を配布し、当協会への入会をお願いいたしました。

3. 本・支部との連携

(1) 令和3年度第1回「本部・支部連絡会議」

令和3年10月12日(火)、緊急事態宣言解除直後の予定であったため、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、オンライン（WEB/Zoom）にて開催され、「電験合格者の勧誘施策」「支部の事業遂行状況」「会員の動向」等について意見交換をいたしました。

(2) 令和2年度第2回「本部・支部連絡会議」

令和3年3月1日(火)、新型コロナウイルス感染症による、まん延防止等重点措置が発出されている状況のため、前回に引き続きオンライン（WEB/Zoom）にて開催され、「新規入会促進」「令和3年度事業実績」「令和4年度事業計画」等について意見交換をいたしました。

4. 会議の開催状況

令和3年度第9回支部大会、運営委員会ならびに、支部役員の選任(変更)の件で臨時運営委員会を書面開催で実施いたしました。そのほか、常任運営委員会を12回、支部長表彰選考委員会を2回開催し、支部活動の推進、業務運営の円滑化をはかりました。なお、今年度につきましても、新型コロナウイルス感染症予防のため、一部の会議体につきましては書面開催といたしました。

- (1) 第9回支部大会 1回（令和3年5月25日：書面開催）
- (2) 運営委員会 1回（令和3年5月25日：書面開催）
- (3) 臨時運営委員会 1回（令和3年7月30日：書面開催）
- (4) 常任運営委員会（書面開催を含む） 12回（令和3年4月11日～令和4年3月16日）
- (5) 支部長表彰選考委員会（書面開催を含む） 3回（令和3年4月11日～令和4年3月16日）

5. 会員の状況

関西支部所属会員は、令和4年3月31日現在、次のとおりとなっています。

正会員	654名
準会員	9名
特別会員	21名
計	684名
維持会員	55社(131口)

令和3年度決算報告

1. 貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度 (a)	前年度 (b)	増減 (a)-(b)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,001,030	1,174,076	△ 173,046
現金	1,718	28,272	△ 26,554
普通預金	892,046	1,037,435	△ 145,389
振替貯金	107,266	108,369	△ 1,103
定期預金	0	0	0
未収金	1,211,400	1,234,000	△ 22,600
前払金	129,680	93,200	36,480
流動資産合計	2,342,110	2,501,276	△ 159,166
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当資産	600,000	550,000	50,000
特定資産合計	600,000	550,000	50,000
その他固定資産	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	600,000	550,000	50,000
資産合計	2,942,110	3,051,276	△ 109,166
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
預り金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
退職給付引当金	600,000	550,000	50,000
固定負債合計	600,000	550,000	50,000
負債合計	600,000	550,000	50,000
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	2,342,110	2,501,276	△ 159,166
正味財産合計	2,342,110	2,501,276	△ 159,166
負債及び正味財産合計	2,942,110	3,051,276	△ 109,166

2. 正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度 (a)	前年度 (b)	増減 (a)-(b)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	0	0	0	
事業収益	362,450	317,360	45,090	
技術向上事業収益	362,450	317,360	45,090	公1
受講料収益	362,450	317,360	45,090	
見学会収益	0	0	0	
技術相談事業収益	0	0	0	公2
技術講座事業収益	0	0	0	公3
技術周知事業収益	0	0	0	公4
表彰事業収益	0	0	0	公5
記念事業収益	0	0	0	公6
雑収益	18	66	△ 48	
受取利息	18	66	△ 48	
雑収益	0	0	0	
本部事業資金収益	4,156,800	4,259,200	△ 102,400	
経常収益計	4,519,268	4,576,626	△ 57,358	
(2) 経常費用				
事業費				
技術向上事業費	2,799,979	2,862,268	△ 62,289	公1
給与手当	1,106,300	1,110,525	△ 4,225	
退職引当金繰入額	32,500	32,500	0	
法定福利費	203,030	201,544	1,486	
旅費交通費	72,244	73,610	△ 1,366	
通信運搬費	41,480	60,289	△ 18,809	
会議費	11,893	50,337	△ 38,444	
事務消耗品費	17,986	22,958	△ 4,972	
印刷費	13,970	22,880	△ 8,910	
水道光熱費	63,306	57,606	5,700	
修繕費	0	0	0	
賃借料	858,000	858,000	0	
リース料	109,512	109,512	0	
会場運営費	258,726	252,333	6,393	
見学会費	0	0	0	
雑費	11,032	10,174	858	
技術相談事業費	0	0	0	公2
技術講座事業費	0	0	0	公3
技術周知事業費	469,928	476,532	△ 6,604	公4
給与手当	170,200	170,850	△ 650	
退職引当金繰入額	5,000	5,000	0	
法定福利費	31,235	31,007	228	
旅費交通費	9,576	9,660	△ 84	
通信運搬費	5,751	6,229	△ 478	

科 目	当年度 (a)	前年度 (b)	増減 (a)-(b)	備 考
会議費	1,830	7,744	△ 5,914	
事務消耗品費	2,767	3,532	△ 765	
水道光熱費	9,739	8,862	877	
修繕費	0	0	0	
賃借料	132,000	132,000	0	
リース料	16,848	16,848	0	
研究調査費	83,285	83,235	50	
雑費	1,697	1,565	132	
表彰事業費	0	0	0	公5
記念事業費	0	0	0	公6
事業費計	3,269,907	3,338,800	△ 68,893	
管理費				
給与手当	425,500	427,125	△ 1,625	
退職引当金繰入額	12,500	12,500	0	
法定福利費	78,089	77,516	573	
旅費交通費	23,940	24,150	△ 210	
通信運搬費	14,379	15,571	△ 1,192	
会議費	4,574	19,360	△ 14,786	
事務消耗品費	6,917	8,830	△ 1,913	
水道光熱費	24,349	22,156	2,193	
修繕費	0	0	0	
賃借料	330,000	330,000	0	
リース料	42,120	42,120	0	
支部大会費	441,915	423,667	18,248	
雑費	4,244	3,914	330	
管理費計	1,408,527	1,406,909	1,618	
経常費用計	4,678,434	4,745,709	△ 67,275	
当期経常増減額	△ 159,166	△ 169,083	9,917	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 159,166	△ 169,083	9,917	
一般正味財産期首残高	2,501,276	2,670,359	△ 169,083	
一般正味財産期末残高	2,342,110	2,501,276	△ 159,166	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	2,342,110	2,501,276	△ 159,166	

3. 財産目録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			1,001,030
現金手許有高		運転資金として	1,718
普通預金	みずほ銀行／天満橋		892,046
振替貯金			107,266
定期預金			0
未収金			1,211,400
本部事業資金		3年度下期分	1,211,400
前払金			129,680
その他前払金		4年度分会場費	129,680
流動資産合計			2,342,110
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当資産			600,000
定期預金	みずほ銀行／天満橋		600,000
特定資産合計			600,000
その他固定資産			0
その他固定資産合計			0
固定資産合計			600,000
資産合計			2,942,110
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			0
預り金			0
流動負債合計			0
2. 固定負債			
退職給付引当金			600,000
固定負債合計			600,000
負債合計			600,000
III 正味財産の部			2,342,110

4. 収支計算書

(公益法人会計における内部管理事項)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 特定資産運用収入	0	0	0	
(2) 会費収入	0	0	0	
(3) 事業収入	900,000	362,450	537,550	
技術向上事業収入	900,000	362,450	537,550	公1
受講料収益	420,000	362,450	57,550	
見学会収益	480,000	0	480,000	
技術相談事業収入	0	0	0	公2
技術講座事業収入	0	0	0	公3
技術周知事業収入	0	0	0	公4
表彰事業収入	0	0	0	公5
記念事業収入	0	0	0	公6
(4) 雑収入	0	18	△ 18	
受取利息収入	0	18	△ 18	
雑収入	0	0	0	
(5) 本部事業資金収入	4,229,000	4,156,800	72,200	
事業活動収入計	5,129,000	4,519,268	609,732	
1. 事業活動支出				
(1) 事業費支出				
技術向上事業費支出	3,072,000	2,767,479	304,521	公1
給与手当支出	1,104,000	1,106,300	△ 2,300	
法定福利費支出	195,000	203,030	△ 8,030	
旅費交通費支出	80,000	72,244	7,756	
通信運搬費支出	80,000	41,480	38,520	
会議費支出	88,000	11,893	76,107	
事務消耗品費支出	39,000	17,986	21,014	
印刷費支出	50,000	13,970	36,030	
水道光熱費支出	65,000	63,306	1,694	
修繕費支出	2,000	0	2,000	
賃借料支出	858,000	858,000	0	
リース料支出	110,000	109,512	488	
会場運営費支出	350,000	258,726	91,274	
見学会支出	40,000	0	40,000	
雑支出	11,000	11,032	△ 32	
技術相談事業費支出	0	0	0	公2
技術講座事業費支出	0	0	0	公3
技術周知事業費支出	487,000	464,928	22,072	公4
給与手当支出	170,000	170,200	△ 200	
法定福利費支出	30,000	31,235	△ 1,235	
旅費交通費支出	10,000	9,576	424	
通信運搬費支出	8,000	5,751	2,249	
会議費支出	17,000	1,830	15,170	
事務消耗品費支出	6,000	2,767	3,233	

科 目	予 算 額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	備 考
水道光熱費支出	10,000	9,739	261	
修繕費支出	1,000	0	1,000	
賃借料支出	132,000	132,000	0	
リース料支出	17,000	16,848	152	
研究調査費支出	84,000	83,285	715	
雑支出	2,000	1,697	303	
表彰事業費支出	0	0	0	公5
記念事業費支出	0	0	0	公6
事業費支出計	3,559,000	3,232,407	326,593	
(2) 管理費支出				
給与手当支出	425,000	425,500	△ 500	
法定福利費支出	76,000	78,089	△ 2,089	
旅費交通費支出	23,000	23,940	△ 940	
通信運搬費支出	19,000	14,379	4,621	
会議費支出	50,000	4,574	45,426	
事務消耗品費支出	15,000	6,917	8,083	
水道光熱費支出	25,000	24,349	651	
修繕費支出	1,000	0	1,000	
賃借料支出	330,000	330,000	0	
リース料支出	42,000	42,120	△ 120	
支部大会費支出	510,000	441,915	68,085	
雑支出	4,000	4,244	△ 244	
管理費支出計	1,520,000	1,396,027	123,973	
事業活動支出計	5,079,000	4,628,434	450,566	
事業活動収支差額 (A)	50,000	△ 109,166	159,166	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入				
退職給付引当資産取崩収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
(1) 特定資産取得支出	50,000	50,000	0	
退職給付引当資産取得支出	50,000	50,000	0	
(2) 固定資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	50,000	50,000	0	
投資活動収支差額 (B)	△ 50,000	△ 50,000	0	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額 (C)	0	0	0	
当期収支差額	0	△ 159,166	159,166	
(D) = (A)+(B)+(C)				
前期繰越収支差額 (E)	2,501,276	2,501,276	0	
次期繰越収支差額 (D)+(E)	2,501,276	2,342,110	159,166	

監査報告書

私たち監査委員は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の支部役員の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監査委員は、支部役員及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、運営委員会その他重要な会議に出席し、及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳票又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 支部役員の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和4年4月11日

公益社団法人 日本電気技術者協会
関西支部

監査委員 熊川 裕之 (印)

監査委員 岸 孝雄 (印)

令和4年度事業計画

令和4年度の事業計画として、電気保安の確保と技術革新、省エネルギーに関する各種講習会、電気施設見学会などを開催し、電気技術者の技術力の向上を図ると共に情報交換会などの開催により、支部会員相互の啓発を図ることとしております。

また、昨年と同様に一般社団法人日本電気協会関西支部、各地区電気協会、一般財団法人関西電気保安協会、株式会社かんでんエンジニアリング等との連携を強化するとともに、新型コロナウイルス感染症に対する政府や地方自治体の対応方針を遵守し、各事業を積極的に進めることとしております。

なお、新規会員増を図るため支部の事業活動実績についてホームページ等で関係者に周知するとともに講習会等の会場においては、当協会の案内パンフレットや会誌の内容を紹介して入会のお勧めを行います。

1. 主な事業

(1) 電気主任技術者等に対する講演会、研修会、施設見学会の開催（公1）

月	予 定 内 容
4	電験三種基礎講座（電気数学） 〔（一社）日本電気協会関西支部に協賛〕（4月23日）
6	電験三種合格直前講習会（理論・電力・機械・法規） 〔（一社）日本電気協会関西支部と共催〕 （理論：6月11日、電力：6月18日、機械：7月23日、法規：7月30日）
	自家用電気設備保全講演会（スマート保安に関する講演会） 〔主催〕（6月3日）
7	内線規程講習会 〔（一社）日本電気協会関西支部に協賛〕（7月5日）
	太陽光発電技術講習会 〔（一社）日本電気協会関西支部に協賛〕（7月20日）
	令和4年度電気使用安全月間講習会（令和3年度中部近畿産業保安監督部近畿支部管内の電気事故と自家用電気工作物の立入検査結果について） 〔（一社）日本電気協会関西支部・各地区電気協会と共催〕（7月中旬）
8	高圧受電設備保全講習会（遮断器点検） 〔主催〕（8月23日）
9	第一種電気工事士筆記試験合格直前講習会 〔（一社）日本電気協会関西支部に協賛〕（9月3日、9月4日、9月10日）

月	予 定 内 容
9	高圧受電設備保全講習会（機器保全） [（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（9月9日）
	系統連系規程講習会 [（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（9月22日）
	電気施設見学会（株式会社ダイヘン 六甲事業所） [主催]（9月中旬）
10	インバータ講習会 [（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（10月5日、6日、7日）
	電気保安関係見学会（関西電力送配電株式会社 技術試験センター） [主催]（10月中旬）
11	自家用電気工作物保安管理規程講習会 [（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（11月8日）
	電気施設見学会（パナソニックライティングシステムズ伊賀工場） [主催]（11月上旬）
	高圧受電設備保全講習会（保護協調図作成） [（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（11月9日）
	第一種電気工事士技能試験合格直前講習会 [（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（11月19日、26日）
12	電験二種基礎講座 （電気数学・電磁気・電気回路・直流機同期機・変圧器誘導機・自動制御） [（一社）日本電気協会関西支部に協賛] （電気数学：12月3日、電磁気：12月10日、 電気回路：12月17日、直流機同期機：1月14日、 変圧器誘導機：1月21日、自動制御：2月4日）
	シーケンサ基礎講習会 [（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（12月6日、7日、8日）
	自家用電気設備の保護継電器試験講習会 [主催]（12月9日）
	高圧受電設備規程講習会 [（一社）日本電気協会関西支部に協賛]（12月13日、14日）

月	予 定 内 容
1	電気設備技術基準・解釈講習会 [(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (1月18日)
	稼働を止めずにできる機器異常診断講習会 [主催] (11月中旬)
2	高圧受電設備保全講習会 (保護協調) [(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (2月予定)
	電気関係法規講習会 [(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (2月8日)
	高調波抑制対策技術指針講習会 [(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (2月16日)
	自家用電気設備保全講習会 (開閉器関係) [主催] (2月中旬)
3	高圧受電設備機器選定講習会 [(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (3月9日)
	系統現象講習会 [(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (3月10日)
	高圧受電設備保全講習会 (機器保全) [(一社) 日本電気協会関西支部に協賛] (3月17日)

※年間計画でありますので、変更になる場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止となる場合があります。

(2) 電気主任技術者等に対する技術相談 (公2)

電気主任技術者等からの電気技術に関する不明点・疑問点等に対する技術相談については、協会本部と連携を図り引き続き対応します。

(3) 技術周知 (公4)

支部のホームページならびに協会誌『電気技術者』の「各支部からのお知らせ」(講習会等の行事予定)を活用し、各種講演会、研修会等の情報ならびに活動状況等を掲載します。

関西支部ホームページ・アドレス <http://jeeaks.sakura.ne.jp/>

本部ホームページ・アドレス <http://www.jeeea.or.jp/>

2. その他事業

(1) 表彰

(a) 支部長表彰

協会の運営及び事業に貢献した会員を支部長表彰選考委員会において選考し、支部大会において、支部長が表彰します。

(b) 会長表彰

支部長表彰を受賞した者であって、引き続き、協会の運営及び事業に貢献した者について、支部長から会長表彰選考委員会に推薦します。

(c) 外部機関の表彰等

叙勲、褒章、電気保安功労者、澁澤賞等の候補者推薦は、実施機関の要請に基づいて、実施します。

(2) 会勢および会員拡大運動の展開

講習会、電気施設見学会等を通じて、一般会員の拡大に努めるとともに、維持会員の拡大についても推進します。

(3) 常任運営委員会の開催

必要に応じて随時、開催します。

令和4年度収支予算書

(正味財産増減計算方式)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	0	0	0	
事業収益	1,088,000	900,000	188,000	
技術向上事業収益	1,088,000	900,000	188,000	公1
受講料等収益	620,000	420,000	200,000	
見学会収益	468,000	480,000	△ 12,000	
技術相談事業収益	0	0	0	公2
技術講座事業収益	0	0	0	公3
技術周知事業収益	0	0	0	公4
表彰事業収益	0	0	0	公5
記念事業収益	0	0	0	公6
雑収益	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
本部事業資金収入	4,109,000	4,229,000	△ 120,000	
経常収益計	5,197,000	5,129,000	68,000	
(2) 経常費用				
事業費				
技術向上事業費	3,172,000	3,104,000	68,000	公1
給与手当	1,104,000	1,104,000	0	
退職引当金繰入額	32,000	32,000	0	
法定福利費	195,000	195,000	0	
旅費交通費	80,000	80,000	0	
通信運搬費	80,000	80,000	0	
会議費	88,000	88,000	0	
事務消耗品費	39,000	39,000	0	
印刷費	50,000	50,000	0	
水道光熱費	65,000	65,000	0	
修繕費	2,000	2,000	0	
賃借料	858,000	858,000	0	
リース料	110,000	110,000	0	
会場運営費	152,000	350,000	△ 198,000	
見学会費	306,000	40,000	266,000	
雑費	11,000	11,000	0	
技術相談事業費	0	0	0	公2
技術講座事業費	0	0	0	公3
技術周知事業費	492,000	492,000	0	公4
給与手当	170,000	170,000	0	
退職引当金繰入額	5,000	5,000	0	
法定福利費	30,000	30,000	0	
旅費交通費	10,000	10,000	0	
通信運搬費	8,000	8,000	0	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
会議費	17,000	17,000	0	
事務消耗品費	6,000	6,000	0	
水道光熱費	10,000	10,000	0	
修繕費	1,000	1,000	0	
賃借料	132,000	132,000	0	
リース料	17,000	17,000	0	
研究調査費	84,000	84,000	0	
雑費	2,000	2,000	0	
表彰事業費	0	0	0	公5
記念事業費	0	0	0	公6
事業費計	3,664,000	3,596,000	68,000	
管理費				
給与手当	425,000	425,000	0	
退職引当金繰入額	13,000	13,000	0	
法定福利費	76,000	76,000	0	
旅費交通費	23,000	23,000	0	
通信運搬費	19,000	19,000	0	
会議費	50,000	50,000	0	
事務消耗品費	15,000	15,000	0	
水道光熱費	25,000	25,000	0	
修繕費	1,000	1,000	0	
賃借料	330,000	330,000	0	
リース料	42,000	42,000	0	
支部大会費	510,000	510,000	0	
雑費	4,000	4,000	0	
管理費計	1,533,000	1,533,000	0	
経常費用計	5,197,000	5,129,000	68,000	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	2,342,110	2,501,276	△ 159,166	
一般正味財産期末残高	2,342,110	2,501,276	△ 159,166	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	2,342,110	2,501,276	△ 159,166	

支部役員の変更

- [1] 第9回通常支部大会以降に支部長について変更があり、公益社団法人日本電気技術者協会定款第28条第1項第3号に基づき、令和3年8月24日、令和3年度第3回理事会（書面）において承認されました。

役名	氏名（旧）	氏名（新）	所 属
支部長	福田 隆	たかいち かずあき 高市 和明	関西電力送配電（株） 常務執行役員

- [2] 第9回通常支部大会以降に副支部長、運営委員について変更があり、公益社団法人日本電気技術者協会関西支部規約第10条第2項に基づき、令和3年7月30日に臨時運営委員会（書面）を開催し、次のとおり選任した。

役名	氏名（旧）	氏名（新）	所 属
運営委員	靱山 清昭	さとう ただし 佐藤 正	(株) かねでんエンジニアリング 電力事業部 変電工事部長
運営委員	岩見 裕一	まつもと しんや 松本 真也	関西電力送配電（株） 配電部 配電運用グループ チーフマネジャー

（順不同 敬称略）

- [3] 令和3年7月30日に臨時運営委員会以降に副支部長、運営委員について変更があり、公益社団法人日本電気技術者協会関西支部規約第10条第2項に基づき、次のとおり選任した。

役名	氏名（旧）	氏名（新）	所 属
副支部長	澤井 尚一	はりま きよし 針間 潔	一般社団法人関西電気管理技術者協会 代表理事・副会長
運営委員	荻野 光正	うえだ たけし 植田 猛	一般社団法人関西電気管理技術者協会 技術委員会 委員長
運営委員	吉川 和彦	ののもと のぶひで 野本 信英	宗教法人天理教 営繕部 電気課

[参考]

支部役員の一覧

役名	氏名	所属
支部長	高市 和明	関西電力送配電(株) 常務執行役員
副支部長	伊藤 隆治	関西電力送配電(株) 配電部長
副支部長	西村 博	(株) きんでん 取締役 常務執行役員 電力本部長
副支部長	栗山 忠士	(株) ダイヘン 執行役員 配電システム事業部長
副支部長	西川 徳裕	日新電機(株) 関西支社 理事 関西支社長
副支部長	三条 寛和	三菱電機(株) 関西支社 執行役員 支社長
副支部長	牧野 守邦	一般財団法人関西電気保安協会 専務理事
副支部長	石井 宏幸	住友電気工業(株) 生産技術部 部長
副支部長	富永 孝	(株) かねでんエンジニアリング 取締役 ネットワーク事業部長
副支部長	針間 潔	一般社団法人関西電気管理技術者協会 代表理事・副会長
運営委員	佐藤 正	(株) かねでんエンジニアリング 電力事業部 変電工事部長
運営委員	大西 修一	電気設備管理事務所代表
運営委員	野林 正盛	㈱かねでんエンジニアリング 電力事業部 変電工事部 技術・営業グループ マネジャー
運営委員	松本 真也	関西電力送配電(株) 配電部 配電運用グループ チーフマネジャー
運営委員	大川内 誠	元 発変電技術研究会 事務局長
運営委員	松井 美和	元 中部近畿産業保安監督部近畿支部 産業保安監督管理官
運営委員	玉置 和夫	一般財団法人 関西電気保安協会 理事 保安部長
運営委員	宇野 安久	電気設備管理事務所代表
運営委員	鶴永 重喜	元 浅海電気(株) 大阪本店 工務部長
運営委員	坪田 英司	日本製鉄(株) 瀬戸内製鉄所 設備部 制御技術室 室長
運営委員	野本 信英	宗教法人天理教 営繕部 電気課
運営委員	田中 聡	(株) 電気書院 代表取締役社長
運営委員	山川 善一郎	(株) 山川工業所 代表取締役社長
運営委員	植田 猛	一般社団法人関西電気管理技術者協会 技術委員会 委員長
運営委員	吉田 修	音羽電機工業(株) 代表取締役社長
監査委員	熊川 裕之	関西電力送配電(株) 配電部 配電運用グループ マネジャー
監査委員	岸 孝雄	元 (一社) 日本電気協会関西支部 事務局長

(令和4年5月25日付)

令和4年度支部長表彰受賞者名簿

(50 音順 敬称略)

いしぼし まさよし
石橋 正良

くろさき まもる
黒崎 衛

さきやま かずひろ
崎山 和浩

にしやま ふみひろ
西山 文浩

ふくなが けいご
福永 啓悟

ますだ まさあき
増田 正明

まつもと まさてる
松本 正晃

まるおか かずひろ
丸岡 和広

やまがみ てるお
山上 輝夫

以上 9 名

公益社団法人 日本電気技術者協会
関西支部規約

制定 平成 25 年 4 月 1 日

この規約は、公益社団法人日本電気技術者協会（以下「協会」という。）が行う事業を円滑に遂行するため、協会定款細則（以下「細則」という。）第 7 条の規定に基づき、これを定める。

第 1 章 名称及び事務所

第 1 条 当支部は、公益社団法人日本電気技術者協会関西支部（以下「支部」という。）と称する。

第 2 条 支部の事務所を大阪府大阪市に置く。

第 2 章 目的及び事業

第 3 条 支部は、定款第 3 条に掲げる目的を細則第 2 条に規定する支部の地域において達成することを目的とする。

第 4 条 支部は、前条の目的を達成するため、定款第 34 条の規定により承認された事業計画に基づく事業及びこれらに関連した補助的事業（定款第 3 条に規定する目的及び第 4 条に規定する事業を達成するものに限る。以下総称して「支部事業」という。）を行う。

第 3 章 会員

第 5 条 支部に所属する会員は、細則第 3 条の規定により、その所属が指定された会員とする。

第 4 章 支部役員

第 6 条 支部に次の支部役員を置く。

- 一 支部長 1 名
- 二 副支部長 1 名以上 10 名以内
- 三 運営委員 3 名以上 20 名以内
- 四 監査委員 2 名以上 3 名以内

2 運営委員のうち若干名を常任運営委員とする。

第 7 条 支部長は、定款第 28 条第 1 項第 3 号の規定により、理事会で選任される。

- 2 副支部長及び運営委員並びに監査委員は、支部に所属する正会員及び特別会員（以下「支部社員」という。）のうちから、支部大会で選任する。
- 3 常任運営委員は、運営委員の中から支部長が委嘱する。

第8条 支部長は、支部を代表し、会務を総括する。

2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故あるとき、若しくは特段の事情があるときは、あらかじめ運営委員会で定めた順序により、その職務を代行する。

3 支部長、副支部長及び運営委員は、運営委員会を組織し、会務を審議し、これを執行する。

4 常任運営委員は、常任運営委員会を組織し、会務を分担する。

5 支部長、副支部長、運営委員及び常任運営委員は、業務の執行の状況を運営委員会へ報告しなければならない。

第9条 監査委員は、支部事業執行全般の監査及び会計の監査を行い、また、運営委員会及び常任運営委員会に出席して意見を述べることができる。

2 監査委員は、監事が行う監査業務に関して、監事から書面による指示があった場合は、その指示業務を行う義務を負う。

第10条 支部役員(支部長を除く。以下同じ。)の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 支部役員に欠員を生じたときは、第17条の規定にかかわらず運営委員会の議を経て、これを補充することができる。この場合、直近の支部大会へ報告しなければならない。

3 補充された支部役員の任期は、その前任者の残任期間とする。

第11条 支部は、支部大会の議を経て、支部顧問及び支部参与を推戴することができる。

2 支部顧問及び支部参与は、支部長の諮問に応ずるものとする。

3 支部顧問及び支部参与は、細則第9条に規定する名誉役員等と混同する略称を用いてはならない。

第5章 会議

第12条 会議は、支部大会、運営委員会及び常任運営委員会の3種とする。

2 支部大会及び運営委員会は、支部長がこれを招集し、その議長となる。

3 常任運営委員会は、支部長があらかじめ指名した常任運営委員長がこれを招集し、その議長となる。

第13条 支部大会は、通常支部大会と臨時支部大会の2種とする。

2 支部大会は、毎年1回事業年度終了後3箇月以内に開催するほか、必要がある場合に開催する。

第14条 運営委員会は、毎年1回以上これを開催する。

2 常任運営委員会は、必要の都度開催する。

第15条 支部長は、次の各号に該当する場合、すみやかにその会議を招集しなければならない。

- 一 5分の1以上の支部社員から連名で会議の目的たる事項を示して、支部大会招集の請求があったとき。
 - 二 5分の1以上の運営委員から連名で会議の目的たる事項を示して、運営委員会招集の請求があったとき。
- 2 支部長は、前項の規定による会議を招集するには、少なくとも5日前までに、会議の目的たる事項、日時及び場所を記載した書面をもって、通知しなければならない。

第16条 支部大会は、5分の1以上の支部社員、運営委員会は、半数以上の運営委員の出席により、成立する。

- 2 支部社員が支部大会に出席できないとき、並びに運営委員が運営委員会に出席できないときは、その表決権の行使を支部社員又はあらかじめ届け出た代理者に、委任することができる。
- 3 前項の場合の支部社員又は運営委員は、当該会議等に出席したものと見なす。
- 4 会議の決議は、出席者の過半数をもって行う。可否同数のときは議長の決するところによる。

第17条 次に掲げる事項は、支部大会で行わなければならない。

- 一 支部事業の報告
- 二 支部決算の報告
- 三 支部規約の変更案の承認
- 四 支部役員を選任

第18条 支部は、毎年年初に、次年度の支部事業計画案及び支部収支予算案を作成し、本部事務局へ提出しなければならない。

- 2 前項の支部事業計画案及び支部収支予算案の作成に当たって、支部社員から提出された意見、希望等については、これを参酌するものとする。

第19条 支部長は、特段の事情により辞任する必要がある場合は、会長に対して、後任者を推薦することができる。退任の場合も同様とする。

- 2 支部長は、第4条の事業を遂行するため必要と認めるときは、常任運営委員会の承認を経て、特定問題対応の委員会を設けることができる。

第6章 会計

第20条 支部の経費は、本部より支給された事業資金及び支部事業の実施に際し取得した財産によって支弁する。

第21条 支部の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第7章 事務局

第22条 支部は、支部事業の遂行に係る業務を処理するため、支部事務局を置く。

- 2 支部事務局には、所要の職員を置き、支部事務局を総括するため、職員の内1名を支部事務局長とする。
- 3 支部事務局の職員は、支部長がこれを任免する。
- 4 支部事務局の運営に関する必要事項は、支部長がこれを定める。

付 則

- 1 この支部規約（以下、「新規約」という。）は、平成25年4月1日より施行する。なお、施行に伴い、平成25年3月31日以前の支部規約（以下、「旧規約」という。）は、廃止する。
- 2 旧規約の規定により選任された役員であって、新規約施行の日の前の日にその任にある者は、新規約第7条の規定にかかわらず支部の役員となり、その役職は新規約に定める相応した役職に読み替えるものとし、その任期は、新規約第10条の規定にかかわらず、新規約施行後最初に開催される支部大会の日までとする。
- 3 新規約の実施に必要な事項は、運営委員会においてこれを定める。

公益社団法人 日本電気技術者協会 関西支部

〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1 丁目 4 番 6 号

(肥後橋新興産ビル 2 階)

TEL : 06 (6447) 4418, FAX : 06 (6447) 4422

ホームページ <http://jeeaks.sakura.ne.jp/>

郵便振替 : 00950-9-111960